

やまや
山谷よしのりの
経歴



生年月日 1982(昭和57)年8月1日

経歴 昭和57年8月 苫小牧市に生まれる
平成7年3月 苫小牧市立沼ノ端小学校 卒業
平成10年3月 苫小牧市立沼ノ端中学校 卒業
平成13年3月 北海道苫小牧東高等学校 卒業
平成17年3月 北海学園大学 工学部土木工学科 卒業
平成17年4月 株式会社北大ゼミナール 入社
平成28年3月 株式会社TransCool 入社
平成31年4月 苫小牧市議会議員選挙 初当選

議会役職 令和元年5月～
総合開発特別委員会 委員
文教経済委員会 副委員長
令和3年5月～
安心・安全及び市民ホールに関する特別委員会 副委員長
総務委員会 委員
議会運営委員会 委員

主な役職 新中野町内会 会長
苫小牧市立若草小学校 PTA会長
苫小牧市苫小牧東中学校 PTA副会長
学校法人ふたば学園 評議員
苫小牧ピアリーグ普及委員会 総務
株式会社TransCool 総務部長
株式会社アシストライフ 顧問

家族構成 妻、長男(中2)、二男(小6)
三男(小3)、四男(5歳)

趣味 スポーツ観戦
ゴルフ、アイスホッケー

座右の銘 一期一会

資格 弓道二段



やまや
山谷よしのりの
決意



苫小牧市で生まれ育ち、大好きな苫小牧市のために働きたいという思いを抱きました。平成31年から市議会議員を務めさせて頂き、1期4年、先陣切のように奮闘して参りました。40歳になった今、苫小牧市で生まれ育った子どもたちが、ずっと住み続けたい魅力あるまちになるよう、市政の強化と情報の発信を念頭に、止まることなく、休むことなく、チャレンジし続けていきます。

応援メッセージ

子どもたちの学力向上は、将来の可能性を広げ、未来の礎となります。その取り組みは、まだまだ課題となっている部分もたくさんあります。山谷氏が民間教育の前線で培ってきた力を、今こそ本市の子どもたちのために広く発揮して欲しいと願っています。

若年層の政治への関心が低下している今日、山谷氏のように若く、中高生や若年層に対する情報発信能力と説得力が本市には必要です。

子育て、教育、医療福祉をはじめ、地元経済の発展のために活躍してくれること確信しております。若い力で市政にチャレンジする山谷氏に、皆様のご支援を心よりお願いする次第でございます。

苫小牧市長 岩倉 博文



山谷よしのり後援会事務所

苫小牧市新中野町1丁目4番17号
TEL0144-84-7581/FAX0144-84-7582



苫小牧に明るい未来を！
苫小牧の子どもたちに夢と希望を！

苫小牧市議会議員

40歳

やまや
山谷
よしのり

YAMAYA YOSHINORI

やまや
山谷よしのり
4か条

「市議会議員って何をしているんだろう?」と疑問を投げかけてくださる方がたくさんいらっしゃいました。

苫小牧市民として、苫小牧市に住むすべての方が住みやすく、そして充実した毎日をご過ごせるようにしていくため市政にチャレンジしたのが、私が市議会議員を志すきっかけでした。財政のこと、経済のこと、教育のこと…たくさんの課題が積まれる我が市を、フットワークの軽さと若い考え方を十分に発揮し、よりよいまちにする自信があるからこそ、日々多くの課題と向き合っています。

市議会議員とは、「市民の生活を支える者」であり、「市民の生活を豊かにする者」でもあるとも考えます。

人口減少や高齢化等の諸問題を改善し、20年先も30年先も安心して生きることができる未来を切り拓いていくためにも、ご支援を心よりお願いするとともに、皆さま一緒に苫小牧市を育てていくことができれば幸いです。

1

こどもたちの学力向上と学習環境整備に取り組みます!

苫小牧市の学力は、全国平均と比較して残念ながら高いとは言えず、市内の学校間においても学力格差が生じてしまっているのが現状です。将来、苫小牧市を支えるこどもたちの学力を向上させ、更には学習の「デジタル化」によって学習環境を改善・整備し、教育の合理化と効率化を同時に推し進めて参ります。

2

子育て世代を応援し安心安全な地域づくりをサポートします!

社会の働き方が変わり、共働き世帯が増加した今、子育てサポートを必要としているご家庭が多くなりました。経済的負担の軽減、子育て相談、地域事業の参画など、あらゆる面からこどもを守り、そして明るく元気に過ごせるように、行政と町内会をはじめとする地域コミュニティがタッグを組んで、安心安全な地域づくりを進めます。

3

若者の政治関心を高め自ら市政を考える場を創出します!

政治に関心がないことは、全て悪いわけではありません。しかし今の若者が中高年となった時を見据えて、すぐにでも市政に対して行動することができる場をつくります。若者世代が住みよい苫小牧にするために、自らの意見をしっかりと持ち、意見交換等の交流をすることで、少しずつでも政治に対する興味や関心を向上させて参ります。

4

高齢者や障がいを持つ方のための医療・介護・福祉環境を充実します!

医療・介護・福祉環境の基盤と地域連携強化を実現し、社会的サポートを必要とする方々が安心して生活できる環境づくりを推進します。スタッフの不足が課題となっておりますが、更に細かな現状把握や制度活用等を官民間問わずしっかりと取り組み、「ふくしのまち」と呼ばれるほどのベースアップを目標に掲げ、事業者誘致にも力を入れて参ります。

